

平成27年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) **国補**・県単

事業名	林道事業〔森林基幹道開設事業(国補)〕		事業箇所	都留市大野、都留市鹿留		地区名	林道細野鹿留線		事業主体	山梨県	
	当初計画	現計画	今回見直し予定			(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕					
計画期間	H8~H30		—			H8~H34					
総事業費	6,685百万円		6,190百万円			—					
(1) 事業の概要											
①事業目的及び効果											
<p>本路線は、都留市大野と、鹿留を結ぶ連絡林道であり、都留市南東部の御正体山北面一帯の県有林を中心とした広大な森林を管理経営することを目的とする森林基幹道である。</p> <p>利用区域1,869haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約65%を占めており、森林を適正に管理し、資源を循環利用する木材生産に加え、国土保全、水源かん養、保健休養等、森林の公益的機能を発揮させるための基盤となる林内路網の骨格的な林道である。</p> <p>また、県道都留道志線と鹿留地区、忍野村への連絡により、広域的な地域間交通の利便性の向上や災害時の迂回路としての活用なども期待されている。</p>											
②事業概要											
<p>森林基幹道 計画延長 19,100m 幅員 5.0m (うち新設15,200m、改築3,900m)</p> <p>利用区域面積 1,869ha 森林資源蓄積量 238,019m³</p>											
③現計画の全体計画											
	平成26年度まで	平成27年度 (評価実施年度)	平成28年度以降								
工事内容	林道開設 L=11,273m	林道開設 L= 640m	林道開設 L=3,287m								
	林道改築 L= 579m	林道改築 L= 400m	林道改築 L=2,921m								
	合計 L=11,852m	合計 L=1,040m	林道改築 L=6,208m								
事業費	3,803百万円	270百万円	2,117百万円								
④特記事項											
なし。											
⑤再評価時の評価状況											
(平成22年度再評価)											
<p>構造物や道路幅員の縮小などコスト削減に努めるとともに、進捗率維持のための時間管理を徹底し、当初計画どおり平成30年度の完成に努められたい。</p>											
①地域・住民の意向状況											
<p>近年は森林に対して、木材生産や国土保全、水源かん養はもとより自然とのふれあい、教育の場としての機能も期待されている。本林道についても、本来の目的である林業経営のための施設としての役割には大きな期待を抱いているが、地域間の連絡道路、山村地域の振興、鹿留川や御正体山周辺のレクリエーション活動などの森林空間を活用した地域振興のため、当林道整備は不可欠であると要望されている。 (都留市長の意見)</p>											
②産業・経済情勢											
<p>県では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて整備される競技施設に対し、県産FSC認証材の活用を積極的に働きかけ、県産材の需要拡大に取り組んでいる。</p>											
③国等の方針変更											
<p>・森林・林業基本計画 国は平成23年7月に「森林・林業基本計画」を策定し、10年後の木材自給率50%以上を実現するため、路網整備の加速化などにより、林業の持続的かつ健全な発展を実現することとしている。</p>											
④上位計画・関連事業計画等の変更											
<p>・山梨県東部地域森林計画(平成26~35年度) ・県有林管理計画(平成23~32年度) ・やまなし森林・林業再生ビジョン(平成24~33年度) ・山梨県林内路網整備計画(平成23~35年度)</p>											
⑤自然環境条件等の変化											
なし											
⑥その他											
なし											
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕											
<p>・平成8年度事業採択時計画における事業全体B/C 未算出</p> <p>・平成12年度再評価時計画における事業全体B/C 未算出</p> <p>・平成17年度再評価時計画における事業全体B/C 1.20 便益(B)6,799百万円/費用(C)5,673百万円=1.20</p> <p>・平成22年度再評価時計画における事業全体B/C 1.23 便益(B)7,732百万円/費用(C)6,294百万円=1.23</p> <p>・平成27年度再評価時計画における事業全体B/C 1.18 便益(B)8,159百万円/費用(C)6,924百万円=1.18</p> <p>(林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出 採択基準1.0以上)</p>											

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 構造物や道路幅員の縮小などコスト縮減に努めたため、全体事業費を次のとおり変更した。(平成22年度再評価) 当初：総事業費6,685百万円 変更：総事業費6,190百万円</p> <p>②施行済みの事業内容(1)③「全体計画」に記載した内容と比較 全体計画のとおり。</p> <p>③進捗率(現計画に対する実績)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>※平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>59</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>47</td> <td>58</td> <td>62</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>71</td> <td>82</td> <td>93</td> <td>100</td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>68</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </table> <p>*再評価実施年度 H27年度の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 細野工区と御正体山東工区間は順調に進んだものの、鹿留工区と御正体山西工区間においては、急峻な地形や脆弱な地質のため延長が伸びなかったことによる。</p>		※平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計 画	42	48	53	59	65	実 績	39	43	47	58	62		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	算出方法	計 画	71	82	93	100	計画延長/総延長×100	実 績	68				実施延長/総延長×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 区間完成による工区数減少により、大幅な進捗向上が困難である。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み(計画期間について記載) 区間完成による工区数減少に対応するため、新たな工区を設けることを検討したが、急峻な地形により進入路を作設することが困難なことや、今後の開設区間も急峻な地形や脆弱な地質が想定されることから大幅な進捗向上は見込めないため、工期を4年延長し平成34年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性(総事業費について記載) これまでの実績や今後の実施計画を再精査したところ、想定より急峻な地形であったため全体計画延長が約900m増加する見込みであるが、コスト縮減の実績及び見込により総事業費に変更はない。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>内容</td> <td>計画期間</td> <td>総事業量</td> <td>総事業費</td> </tr> <tr> <td>現計画</td> <td>H8~H30</td> <td>延長L=19,100m</td> <td>6,190百万円</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td>H8~H34</td> <td>延長L=19,973m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>4年の増</td> <td>873mの増</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 地形の変更を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については在来種を主体とした緑化による保全を図り、良好な自然環境の維持及び環境に配慮した計画である。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 地形にあった平面・縦断線形をとり、法面、路側構造物等を縮小する。切盛土量の収支均衡を図り、土工のコストを縮減する。また、急峻な地形においては安全施設を設置しながら路肩縮減を行う。</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし。</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他() (理由) 本林道は木材生産の基盤となる林内路網の骨格的な林道であり、今後は作業道等によりエリア内の森林整備や木材の搬出を担う林内路網が形成されることとなり、全線開通後は効率的に木材を低コストで運搬できるようになる。また、広域的な地域間交通の利便性の向上や、災害時の迂回路としての活用も期待されることから地域間の連絡道路とする必要がある。このため、事業期間を4年延長し継続する。</p>	内容	計画期間	総事業量	総事業費	現計画	H8~H30	延長L=19,100m	6,190百万円	見直し後	H8~H34	延長L=19,973m	—	増減	4年の増	873mの増	—
	※平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																
計 画	42	48	53	59	65																																																
実 績	39	43	47	58	62																																																
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	算出方法																																																
計 画	71	82	93	100	計画延長/総延長×100																																																
実 績	68				実施延長/総延長×100																																																
内容	計画期間	総事業量	総事業費																																																		
現計画	H8~H30	延長L=19,100m	6,190百万円																																																		
見直し後	H8~H34	延長L=19,973m	—																																																		
増減	4年の増	873mの増	—																																																		

3. 添付資料シート(1)

省略

3. 添付資料シート (2)

口現況等写真



① 計画地遠景



② 林道沿線における森林整備の状況



③ 林道沿線における収獲木材の搬出状況



④ 先線計画箇所現地状況

年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）			事業概要				実績及び計画累計延長（m）	進捗率
	全体	開設	改築	開設延長	開設工区数	改築延長	改築工区数		
H8	35,000	35,000		全体計画調査設計				0	0%
H9	135,000	135,000		林道開設工 L=560m	2			560	3%
H10	127,000	127,000		林道開設工 L=343m	2			903	5%
H11	233,000	233,000		林道開設工 L=603m	2			1,506	8%
H12	130,000	130,000		林道開設工 L=310m	2			1,816	9%
H13	177,000	177,000		林道開設工 L=455m	2			2,271	11%
H14	110,000	110,000		林道開設工 L=342m	2			2,613	13%
H15	117,000	117,000		林道開設工 L=313m	2			2,926	15%
H16	117,000	117,000		林道開設工 L=408m	2			3,334	17%
H17	147,800	147,800		林道開設工 L=707m	2			4,041	20%
H18	131,000	131,000		林道開設工 L=528m	2			4,569	23%
H19	140,000	140,000		林道開設工 L=449m	2			5,018	25%
H20	210,000	210,000		林道開設工 L=428m	3			5,446	27%
H21	280,000	280,000		林道開設工 L=915m	4			6,361	32%
H22	270,000	270,000		林道開設工 L=951m	4			7,312	37%
H23	264,340	264,340		林道開設工 L=802m	4			8,114	41%
H24	310,000	310,000		林道開設工 L=925m	4			9,039	45%
H24補正	139,630	139,630		林道開設工 L=522m	4			9,561	48%
H25	410,000	346,000	64,000	林道開設工 L=847m	4	林道改築 L=579m	1	10,987	55%
H26	320,000	320,000		林道開設工 L=865m	4			11,852	59%
H27	270,000	216,000	54,000	林道開設工 L=640m	4	林道改築 L=400m	1	12,892	65%
H28	383,000	303,000	80,000	林道開設工 L=800m	4	林道改築 L=600m	1	14,292	72%
H29	423,000	303,000	120,000	林道開設工 L=800m	4	林道改築 L=400m	1	15,492	78%
H30	388,000	303,000	85,000	林道開設工 L=800m	4	林道改築 L=500m	1	16,792	84%
H31	255,000	170,000	85,000	林道開設工 L=440m	2	林道改築 L=500m	1	17,732	89%
H32	255,000	170,000	85,000	林道開設工 L=440m	2	林道改築 L=500m	1	18,672	93%
H33	243,000	170,000	73,000	林道開設工 L=440m	2	林道改築 L=421m	1	19,533	98%
H34	170,000	170,000		林道開設工 L=440m	2			19,973	100%
合計	6,190,770	5,544,770	646,000	林道開設工 L=16,073m		林道改築 L=3,900m			

開設延長+改築延長=19,973m